



『シャイニーガーデン』には、動線、構図、小物づかいなど、庭づくりのヒントがいっぱい。散策するだけでも楽しい気分になれる



バリアをなくし
活気あふれる
街を目指して

● シャイニーガーデン

家族が輝く庭づくり 宗像を楽しく活気ある街に

「家」と「庭」と書いて「家庭」。どちらが欠けても家庭は成り立たない、と教えてくれたのは代表取締役の枇杷光二さん。

「この仕事をしていて気付いたのは、庭づくりがきっかけで家族が生き生きと輝いていくことです。家は家族のコミュニケーションスペースですが、庭は地域の人々の触れ合いの場所。きれいな庭がたくさんあれば、街

並みも美しくなり、そこは楽しい場所になります。いつも誰かが庭づくりを楽しんでいるような街なら、子供たちの安全や防犯にもつながるのでないでしょうか」

宗像で生まれ育った枇杷さんの願いは、近所同士のバリアをなくした、活気あふれる街づくり。そこにあるのは、昔ながらの人々のふれあいを感じることでできる環境だ。

例えば、家族が輝く庭づくりに大きな役割を果たしてくれるのが、家と庭の真ん中に設ける「ガーデンルーム」。木々の揺らめきや風を感じることでできるこのスペースは、自然の恵みをいっぱい受けられるアウトドアリビング。宗像市稲元にある『シャイニーガーデン』では、その魅力を実際に体験することができる。同社の理念を集約した生活空間「BIWA HOUSE」で、完全予約制による個別相談も実施中。主婦たちによる手作り作品を集めたワンデーショップや、生地づくりから始めるピザ窯焼き体験など、春・秋のイベントも楽しみだ。

Pick UPI

お庭物語 — 家族の“夢”を叶えた ガーデンルーム



そのきっかけは、おじいちゃんの介護中に起きた事故。毎日空を眺めていたおじいちゃんが、庭の出入り口で転んで動けなくなってしまったのです。そこでご家族は、どんな天気でも庭に近づける場所「ガーデンルーム」づくりを決意しました。しかし、奥様はおじいちゃんの介護疲れでそれどころではありません。ところが、ガーデンルームをつくる中で庭にバラの木を植えてからは、毎日が植物に癒される日々。たくさん取れたブラックベリーでジャムを作り、息子さんたちが釣ってきた魚をさばく時も、外のキッチンが大活躍。そのまま庭で楽しむバーベキューに、おじいちゃんもガーデンルームから参加することができたのです。その上、なんと奥様の夢だった雑貨店もオープン。たくさんのお花と大好きな雑貨に囲まれた、憧れの自宅ショップの誕生でした。

家族に笑顔とコミュニケーションを広げてくれたガーデンルームづくり。これからも、それぞれの家庭にどんな物語が展開していくのか、とても楽しみです。



事務所兼打ち合わせルームのログハウス



お庭暮らしの見学ができる「BIWA HOUSE」は日本初の試みだとか



6人の女性デザイナーの中からお客様の感性に合った一人を配置。心地よい音楽の流れるガーデンサロンで心ゆくまで相談に応じてくれる

リクシル2010年・2011年エクステリア施工コンクールガーデン部門で2年連続銀賞受賞



2010東洋エクステリア第32回エクステリア施工コンクール自然浴ガーデン部門で銅賞受賞



シャイニーガーデン (株式会社 二光)

MAP | P90 B-3
宗像市稲元3-1-23
0940-33-5000
10:00~18:00 ※土日も営業
www.nikou.jp/



庭づくりの第一歩、女性デザイナーによるデザイン画



一時は宗像を離れて仕事をしたこともあったけれど、外に出て初めて地元の良さに気付いたという枇杷光二さん。「地域のお客様に育てていただいた会社です。これからもずっと宗像でやっていきたいですね」と語る